



H30年度 入学者選抜実施要項改正について

那覇地区の中学校・高等学校の先生方が集まり、3年生が受験する H 30年度の入学者選抜実施要項の改正に関する確認が行われました。入試制度に関する主な内容は次の通りです。

(1) 定員数について

H30年度県立高等学校定員数は15,360名

【入学定員変更】

全日制課程

- ・那覇高校 1クラス減
- ・知念高校 1クラス減
- ・糸満高校 1クラス減

定時制課程

- ・那覇工業高校（電子機械科）1クラス減

【学科・コース・系列名等改正】

全日制課程

- ・沖縄水産高校 総合学科（マリンスポーツ） → マリンスポーツ系列

定時制課程

- ・那覇工業高校 機械科 → 機械科（機械加工コース）（機械整備コース）

(2) 写真票継続

H29年度入試から写真票が導入されました。

（旅券申請用判（縦4.5cm×横3.5cm）。出願前6ヶ月以内に撮影した物。

写真の裏には氏名、生年月日を記入。推薦入試用/一般・二次募集用。）引き続き実施。

(3) 住民票謄本

住民票謄本はマイナンバーが掲載されていないこと。（掲載されている物は差し替え）

…ちなみに、

H29・H28年度入試の変更には以下のようなものがありました

(1) H29年度入試の全体的な入学定員数は15520人 定数

「浦添商業高校」情報処理科1クラス減 「南部工業高校」1クラス増

①学科名・コース名の変更

「真和志高校」みらい福祉科[新設](定員40)

「南部工業高校」電気設備科→電気科(定員40)/建築設備科(定員40) 「豊見城南高校」ITコース→普通コース

「宜野湾高校」総合教育コース →普通コース 「美来工科高校」都市環境科 →土木工学科

(2) H28年度入学定員は、昨年度比較で120名減。

球陽 高校 国際英語科4クラス → 3クラス

豊見城南高校 普通科6クラス → 5クラス

開邦 高校 理数科3クラス・英語科2クラス → 学術探究科4クラス

①学科名の変更

名護商工高校 「生産システム科」 → 「機械システム科」

開邦高校 「理数科、英語科」 → 「学術探究科」

②沖縄高等特別支援学校の募集に関する変更。

昨年度まで沖縄高等特別支援学校は二次募集を行っていませんでしたが、空き定員が出た場合、追加募集が行われます。

③県立南部高等支援学校(仮称)が開校になります。

④通信制課程の第二次募集の出願資格についての変更。

昨年度まで通信制課程(泊高校・宜野湾高校)への二次募集への出願は、一次で通信制課程を受験し合格できなかった者に限られていました。しかし、一次で全日制・定時制を受験し、合格できなかった者。一次で受験をしていない者も受験できるようになります。(全日制・定時制・通信制課程に志願し合格した者は出願できません。また、通信制課程に志願し、合格しなかった同一校には出願できません。)

開邦高校について

(1) 学科名と学級数の変更

中学校1学級の併設に伴い、従来の理数科(3学級)・英語科(2学級)を統合し、学術探究科4学級を設置。学術探究科は、2回の希望調査を経て2年次から学術文科(人文・社会科学系)・学術理科(自然科学系)を選択し、それぞれの専門性を更に高めていきます。そして、それぞれの目指す進路実現へ向け、難関大学を含む国公立大学・私立大学への進学を目指します。従って、入試の際は総合力の高い生徒が合格していくであろうとのことです。

(2) 適性検査について

学術探究科における適性検査は国語・社会・数学・理科・英語の各科目について実施。検査時間は国語・数学・英語(リスニング含む)が20分、理科・社会15分とする。なお、昨年度まで実施していた英語科の適性検査で実施していた英語によるインタビューは実施しない。

国立高等専門学校について

国立高等専門学校入学者選抜学力検査におけるマークシート方式の導入について

平成28年度入試(平成28年2月実施)から、国立高等専門学校の入学者選抜学力検査が、従来の記述式による解答方法からマークシート方式による解答方法に変更されます。マークシート方式による解答は、全国学力・学習状況調査などでも採用されており、中学生の皆さんも一度は目にしたことがある方法です。

★ お知らせ ★

図書館に高校案内(パンフレット)コーナーを設置しました。
是非、見に行ってください!!